

【生薬名】 辛夷 *MAGNOLIAE FLOS*

【起源植物】 モクレン *Magnolia fargesii*, *liliflora*

【科名】 モクレン科 *Magnoliaceae*



【別名】 辛雉・候桃・房木・辛矧（本経）、木筆・迎春（拾遺）

【薬用部分】 花蕾

【主成分】 シトラール、シネオール、オイゲノール

【薬性】 気味は辛平、帰経は肺胃に属す

【効能】 ●散風通竅

●鼻づまりを通し頭痛を止める効果がある

●蓄膿症、鼻炎には、辛夷15g、蒼耳子9g、白芷30g、薄荷葉15gを細末として毎食後6gずつ服用

●鼻づまりに1日5～10gを煎服

●蓄膿症に1日2～3g

●漢方でも風邪、頭痛、蓄膿症などに処方に加味したりして使う  
葛根湯加辛夷川芎、辛夷清肺湯など

●単味で使うよりも葛根湯などに加味して使うのが一般的で治療効果も上がる

●

【出典】 ●治五藏身體寒熱。風頭腦痛。面𦘔。久服下氣。輕身明目。増年耐老。（神農本草経上品）

●

【備考】 ●コブシ *M. kobus*、タムシバ *M. salicifolia*、ハクモクレン *M. denudata*、シデコブシ等も辛夷として使う

●

【処方例】 ●葛根湯加辛夷川芎、辛夷清肺湯、辛夷散